

## 環境計画学科環境・建築デザイン専攻の一年

布野修司

環境・建築デザイン専攻主任

2006年3月で、藤原悌三先生が御退官、名誉教授と  
なられました。ただ、引き続き、非常勤講師としてお世話  
になっております。藤原先生の退官記念祝賀会は、3月  
26日に、彦根プリンスホテルで、教え子たちの参加も加  
えて盛大に執り行われ、記念論文集『安全・快適・まち  
づくり』、論文集『我が歩み』、研究史『耐震構造から総  
合防災へ、そして、いま環境防災』の全三冊が刊行され  
ました。御業績等の詳細については、この記念刊行物  
に譲りたいと思います。滋賀県立大学には、1998年に  
語着任以来、熱心に教育研究に当たられ、多くの人材  
を育てられると同時に、特に、耐震構造、地域防災に関  
する研究で、大きな足跡を残されました。

人事としては、岡田哲史助教授が千葉大学工学部助  
教授として5月1日付で転任になられ、後任として、高柳  
英明助教授が10月1日付で着任されました。また、同じ  
く10月1日付で、藤原先生の後任として、陶器浩一先  
生が教授に昇任されました。専攻は、大きく若返ったこ  
とになります。両先生の、ますますの御精進とご活躍を  
期待したいと思います。

カリキュラム改定に伴い、今年から新たに太田浩史先  
生(東京大学 COE 研究員、「環境技術」)、金多隆先生  
(京都大学助教授、「建築生産施工」)に非常勤として講  
義を担当していただくことになりました。お二人は、新進  
気鋭の建築家、研究者として活躍されており、学生たち  
に大きな刺激を与えて頂いています。

4月より、独立法人(公立大学法人)化がスタートした  
わけですが、それに先立って、滋賀県立大学全体の地  
域貢献プログラムの一環として、文部科学省の「地域再  
生人材創出拠点の形成」プログラム(科学技術振興調  
整費)に応募することとなり、年初より、その基本理念、  
方法、応募書類の作成に、奥貫隆教授を中心に環境・  
建築デザイン専攻は忙殺されることになりました。

地域診断からまちづくりまでをオルガナイズできるコミ  
ュニティ・アーキテクト「近江環人」を育成することを基本  
理念とする、この応募は、学長自ら中心となったプレゼ

ンテーションも含めて評価され、全国から80近くの応募  
がある中、最終的に公立大学としては唯一10拠点の一  
つに選ばれました。

結果として、「近江環人地域再生学座」という大学院  
コースを設置することになったわけですが(詳細な報告  
は、学長報告、環境計画学専攻報告等に譲ります)、10  
月の開講を目指しての学生募集、学則改定、教員人事  
など、ほとんど夏休みもない状況で、開講後も、環境・建  
築デザイン専攻は、「近江環人地域再生学座」教員会  
議の中心として大きな役割を果たしてきました。法人化  
とともに大学改革、学科新設を含む学部再編が進めら  
れつつあります。中期目標が認められて、一丸となって  
目標達成を求められているわけですが、様々な問題が  
あって、とまどいもあるようです。

建築環境デザイン学科独立へ向けての作業は、昨年  
度、カリキュラム改訂などの骨格を決定してあるため、と  
りたててありませんでしたが、大田新学部長のもとで他  
専攻、他学科と連携して準備を進めてきました。

大学全入時代を迎え、また、昨今の「建設不信」の風  
潮の中、環境・建築デザイン専攻の応募者の減少が心  
配されます。充実した教育研究を展開することが基本で  
すが、対外的なアピール、高大連携など考慮する必要  
があります。議論とともに具体的試みを進めていかなけ  
ればと考えております。

教員の活動については、それぞれの活動記録に委ね  
ますが、受賞もあり、都市計画学会、建築学会を中心と  
して、学科全体としてはいい評価を頂いていると思っ  
ています。

学生の自主的運営による「談話室」活動は今年も活発  
に行われました。また、対外的活躍が目立ちます。3月  
に卒業し、京都工芸繊維大学の大学院に進学した磯貝  
直紀君が卒業制作で MITSUBISHI CHEMICAL  
JUNIOR DESIGNER AWARD 大賞(賞金200万円)受  
賞しました。石井幹子、栄久庵憲司、柏木博、日比野克  
彦、茂木健一郎といった錚々たる顔ぶれの審査員が名

を連ねた権威ある賞です。

また、4回生の高橋溪君が、日本建築学会創立 120 周年記念建築文化事業 Student Summer Seminar 2006 「佐藤淳賞」、そして第 23 回日本建築家協会 (JIA) 東海支部建築設計競技銀賞の両賞を受賞しました。さらに、

三回生の小川智史君がランドスケープ七大展で入賞、京都 CDL”ミテ・キテ・ツクッテ”即日設計コンクールで、四回生の中濱春洋君、高橋溪君が金賞・銀賞を受賞しました。高橋溪君は、立て続けに賞をとっており、将来が楽しみです。